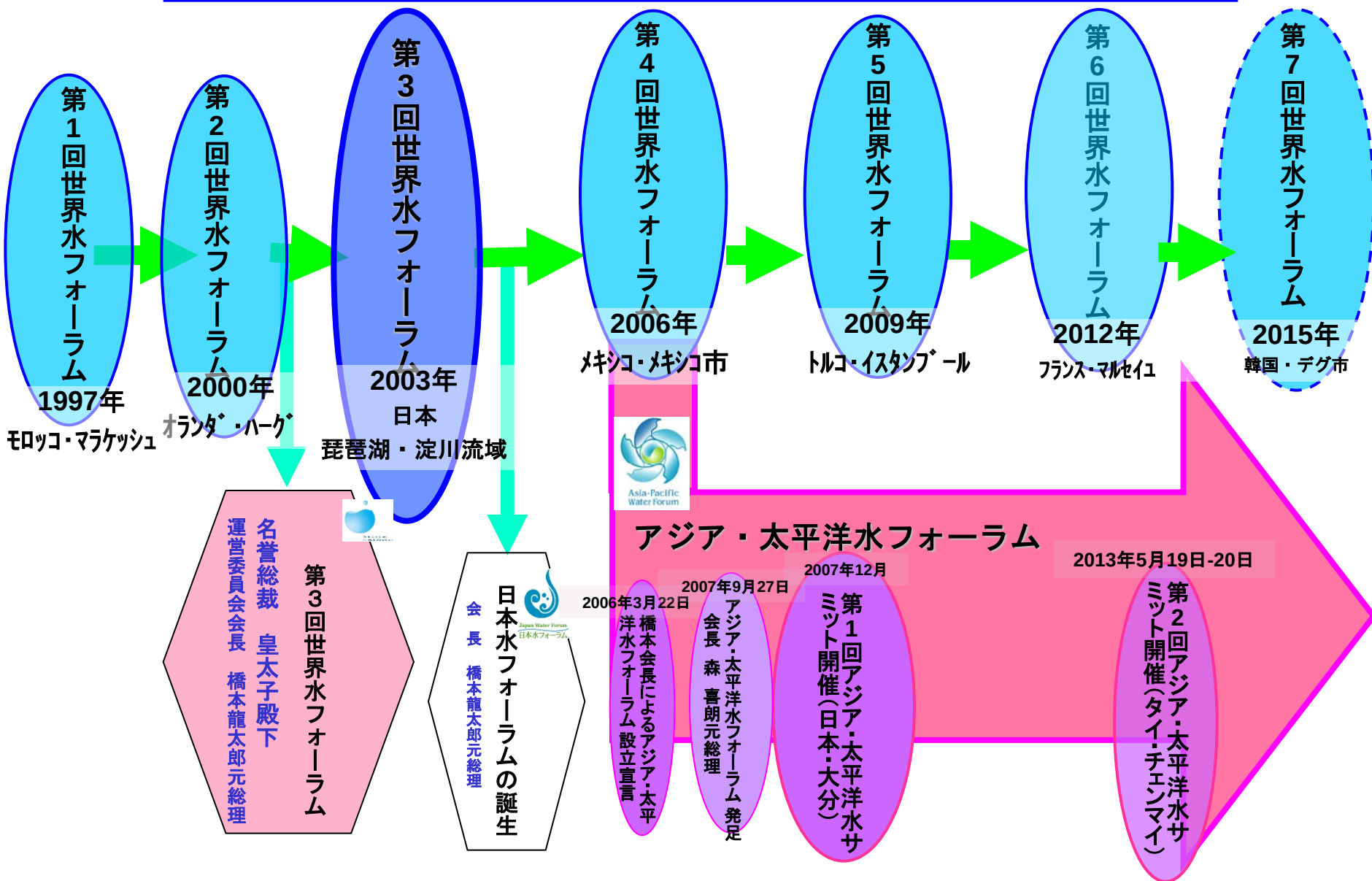


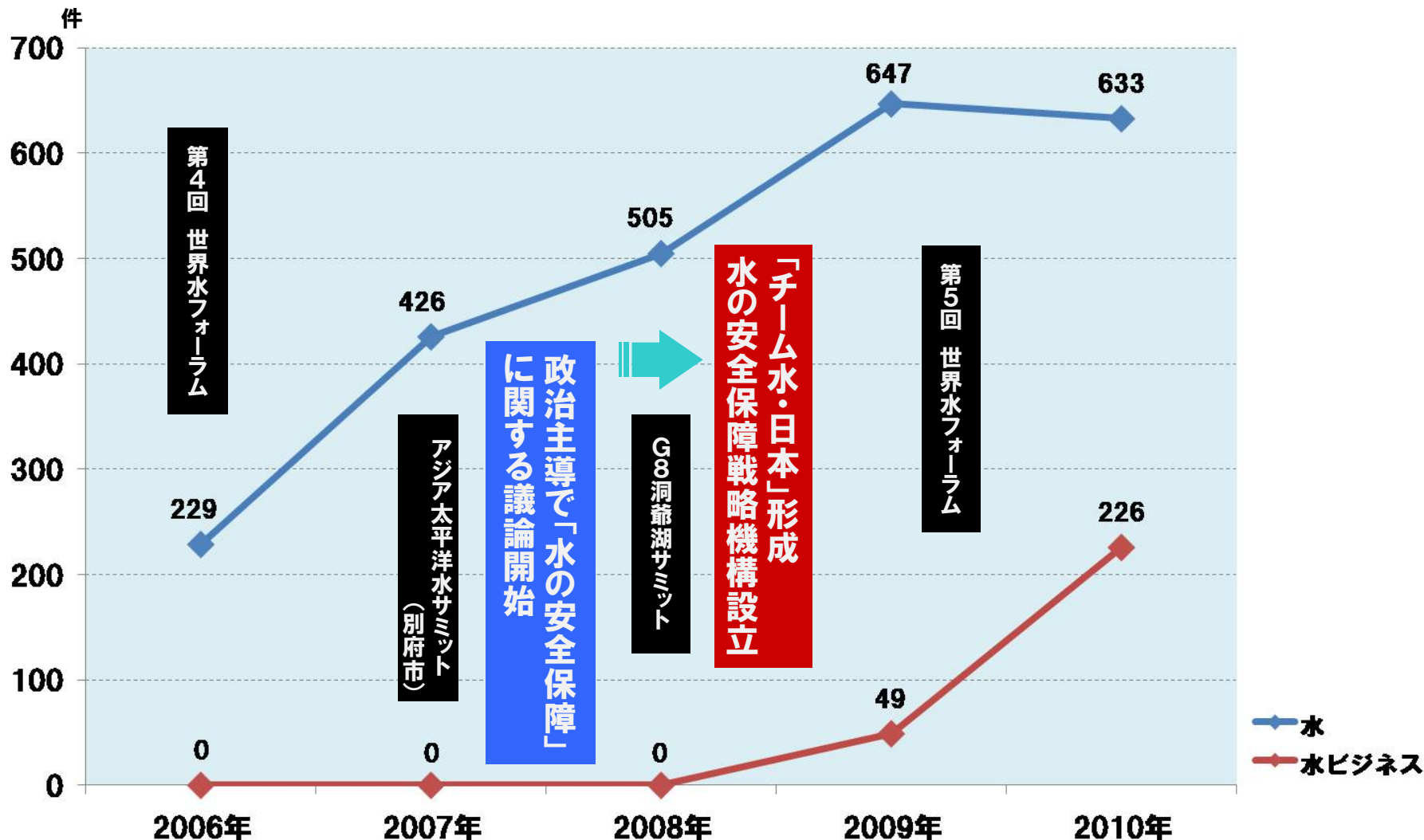
世界の水、日本の水 —21世紀は流域の世紀—

日本水フォーラム事務局長
竹村公太郎

世界水フォーラム及びアジア・太平洋サミットの流れ



「水」・「水ビジネス」の新聞記事事件数推移



※ 水ビジネス・水問題・水道・水資源など、「水」をキーワード／トピックにした全ての記事が含まれています。



水を生かす。未来が生きる。

出典: ELNETデータベースより下記媒体を抽出
朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・産経新聞・日本経済新聞・
日経産業新聞・日刊工業新聞

dentsu

2011 DENTSU Inc., All Rights Reserved.

地球を 読む



さあ考えてみよう。今から2050年までの間に、世界が直面しかねない最悪の事態とは何か？

イスラエルとイランの間の核戦争だろうか。いや違う、と冷徹な現実主義者は言うだろう。これは一定地域内の衝突であって、東南アジアから中南米にかけての大半では、影響は限定的なものに過ぎない、と。



ポール・ケネディ
英歴史家

世界共通の問題

水資源枯渇 最大の脅威

か。そんなことをすれば、規律正しい精鋭に見えるロシア軍の化けの皮がはがれるだろう。人口が減っているロシアの男たちが、軍服を着て、遠いカフカス地方に再進軍したり、腐敗したペラルシを併合したりし

た。そんなことをすれば、規律正しい精鋭に見えるロシア軍の化けの皮がはがれるだろう。人口が減っているロシアの男たちが、軍服を着て、遠いカフカス地方に再進軍したり、腐敗したペラルシを併合したりし

る。そんなことをすれば、規律正しい精鋭に見えるロシア軍の化けの皮がはがれるだろう。人口が減っているロシアの男たちが、軍服を着て、遠いカフカス地方に再進軍したり、腐敗したペラルシを併合したりし

る。そんなことをすれば、規律正しい精鋭に見えるロシア軍の化けの皮がはがれるだろう。人口が減っているロシアの男たちが、軍服を着て、遠いカフカス地方に再進軍したり、腐敗したペラルシを併合したりし

る。そんなことをすれば、規律正しい精鋭に見えるロシア軍の化けの皮がはがれるだろう。人口が減っているロシアの男たちが、軍服を着て、遠いカフカス地方に再進軍したり、腐敗したペラルシを併合したりし

への野望を打ち砕くだろう。中国軍の核心部分の大半は無傷のまま、敵意を募らせよう。ならば、あえて戦争をする意味がない。では、ロシアのプーチン政権が、帝国主義的な領土拡張に乗り出すことだろう

たいと、本気で思うだろう。ロシアは海軍基地を求めて、第三世界の国々と交差しているが、これも、わざわざ人質を差し出すようなものだろう。

そう、この辺りで頭を切り替えた方がいい。理論的な安全保障に比べて、最大の

生命体が存続できる。しかし、その水は真水でなければならぬ。そこに問題の核心がある。要するに、この惑星の大半の水は塩水であり、飲料用にも、たいていは作物の灌漑にも使用できないからである。

「どこを向いても水ばかり。しかし飲み水は一滴もない」。英国の詩人コールリッジは、有名な詩集の中で、海を漂流する老夫に

地球を 読む



1面の続き

ポール・ケネディ氏 1945年、英国生まれ。米エール大学教授。専門は軍事史。著書「大国の興亡」は世界的ベストセラー。

気候学者以外は、誰もが信じられないと思うだろうが、湖や川の水は、世界の水全体の0.01%前後に過ぎないのだ。

流れる水。つまり、最近の雨や雪、山岳部の巨大な氷河の解けた水を集めて流れ下る水は、あらゆる生物と環境、文化、さらには国家にとって、欠かせない存在である。エジプトにナイル川、ロンドンにテムズ川

がなかったら、どうなっているだろうか。例えば、トルコに有名なアナトールク・ダ

紛争・覇権争いより深刻

上流域の人々が汚れた物や危険物質を川に流して、下流域の人々が使う水を汚れるかもしれない。例えば、ライン川の河口を抱えるオランダは、国境を超えた数多くの汚染事例に悩まされてきた。

超えたといわれる。日々の水需要はどんどん高まり、セメント、鉄鋼、半導体、ホテルなどの産業が、膨大な水を消費している。

1800年以降の世界経済の成長、実に多くの人々の生活水準の向上には、野放しの過剰な水利用が伴

る。だが、水の供給源そのものが枯渇したら、どうなるのか。文化、社会的に、そして何よりも物理的に、我々にとって極めて重要な河川に、どれだけ水が流れてくるか予測できなくなった。

ますます貴重になる水資源の科学的な共有方法のため、交渉するよりも、水争い

ムで行っているように、上流の国々は、河川の水を灌漑計画に利用して、地域の農業生産を増大させようとする。だが、シリアやイラクのような下流に位置する国々は、水の供給量が減って被害を受け、憤り、一触即発である。

第二は、政争とはまったく異なる、地球規模の真水に対する需要の増大によるものである。1805年から、この惑星には約10億人の人類がいた。その大半は農業革命以前のやり方で、水を引いて利用していた。今や、世界の人口は70億を

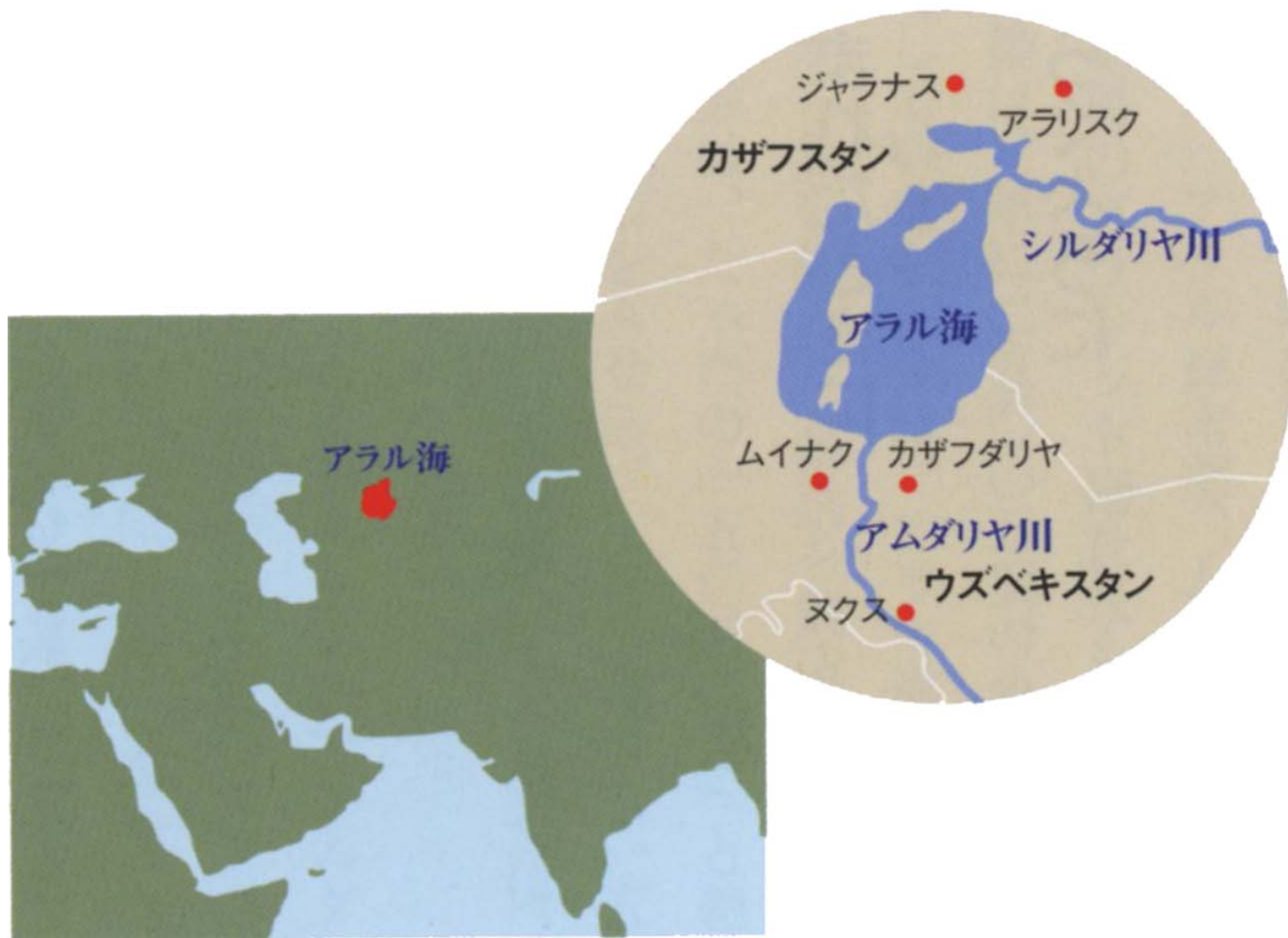
超えたといわれる。日々の水需要はどんどん高まり、セメント、鉄鋼、半導体、ホテルなどの産業が、膨大な水を消費している。

1800年以降の世界経済の成長、実に多くの人々の生活水準の向上には、野放しの過剰な水利用が伴

る。だが、水の供給源そのものが枯渇したら、どうなるのか。文化、社会的に、そして何よりも物理的に、我々にとって極めて重要な河川に、どれだけ水が流れてくるか予測できなくなった。

ますます貴重になる水資源の科学的な共有方法のため、交渉するよりも、水争い

近代化は流域の崩壊
—世界—

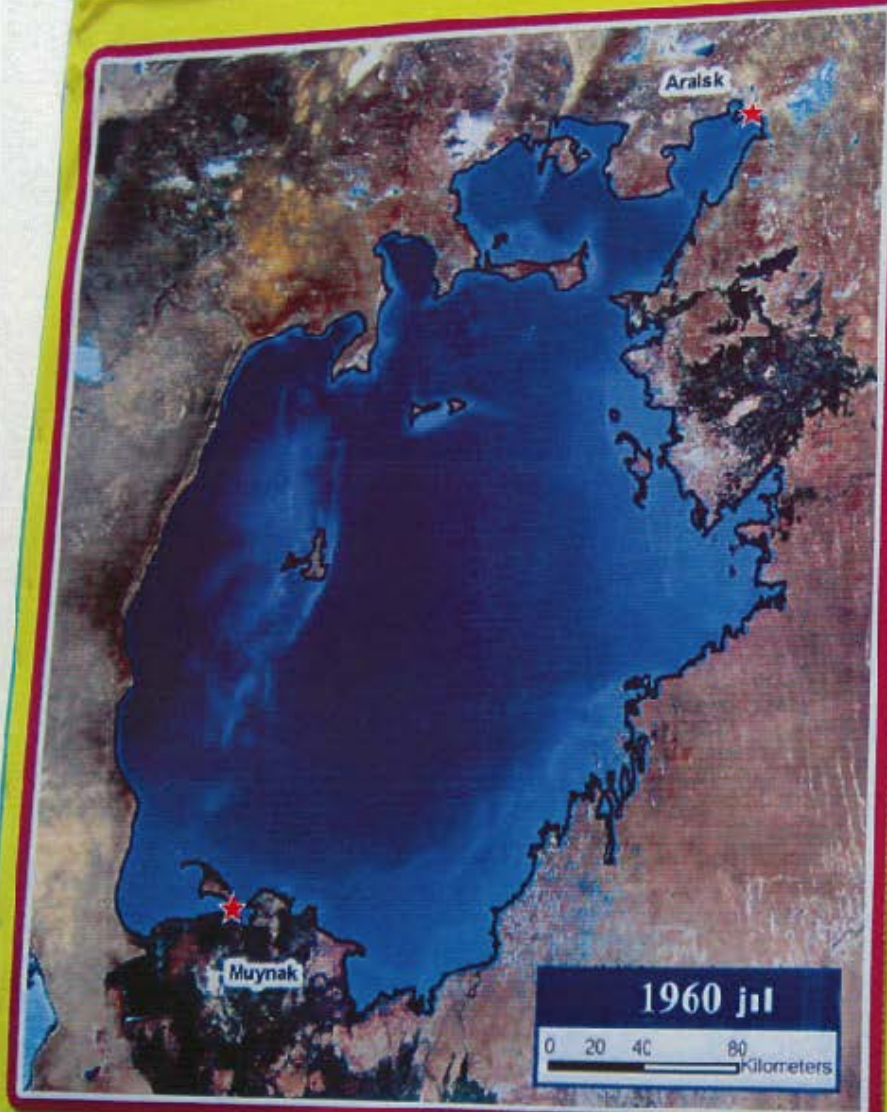


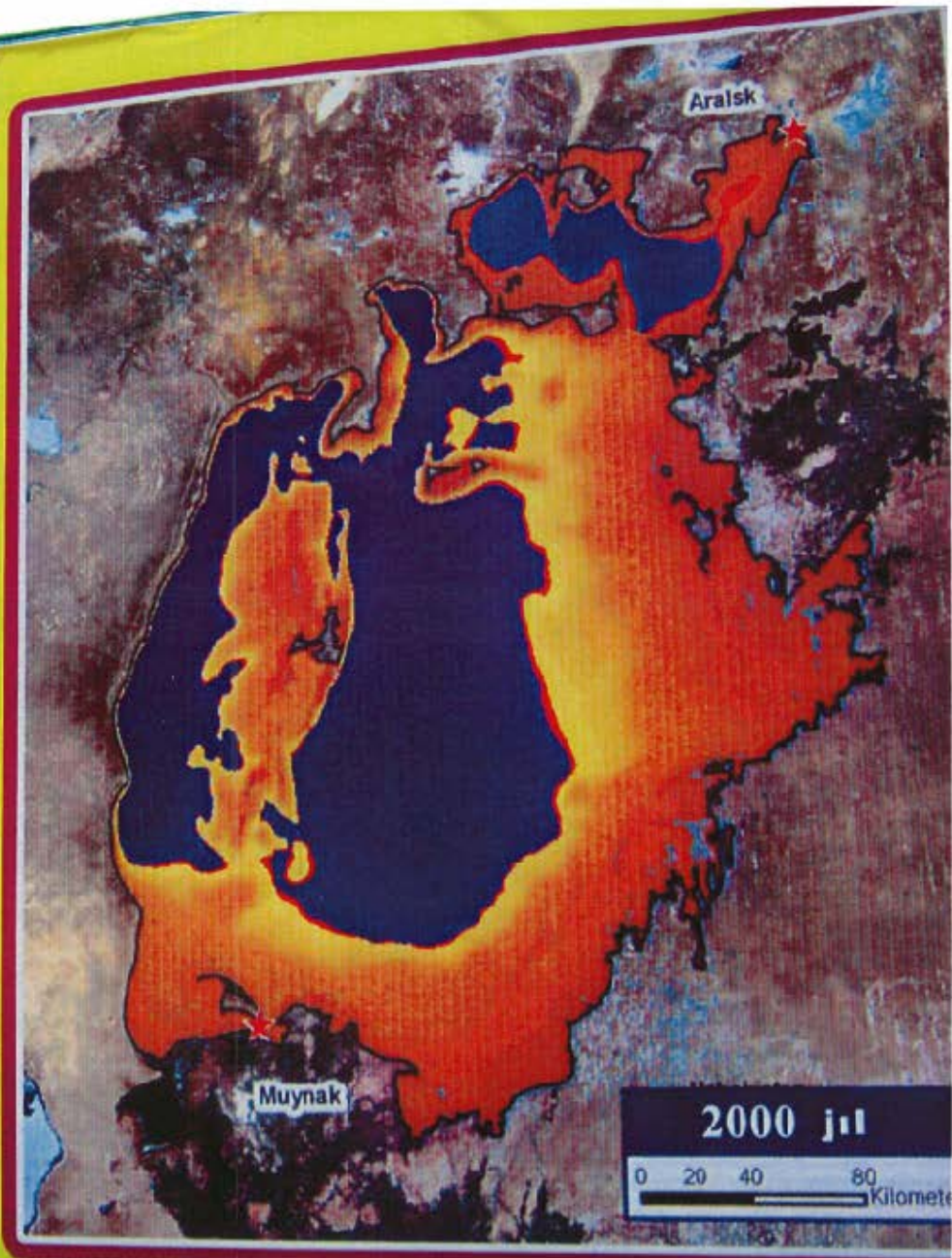
Aral Sea basin





Japan Water Forum / Kazushi Hashimoto





17.09.2009 jil

Араб те кичимси
фото NASA



地球の生死を握る 人類の倫理観

「一瞬だけ大統領になったことがあるアル・ゴアです」

アメリカ副大統領を'93年から'01年までつとめたアル・ゴア氏が世界で行う、環境問題をテーマにした講演は、こんなジョークで始まる。

'00年のアメリカ大統領選、集計ミスで、「一瞬だけ」大統領に当選し、落選したゴア氏の人生は、その瞬間に一変した。目標を失ったゴア氏は、ハーバード大学時代から研究を続けていた環境問題に精力的に取り組み始めたのだ。

「環境破壊は政治の問題ではなく、人間としてのモラルが問われる倫理的な問題です。遠い未来の危機だと無関心になってはならないし、どうにもできないと絶望するべきでもない。環境破壊を起こしたのは人類だが、食い止められるのも人類だけなのです」

ゴア氏の講演は1000回を超える。人類と己の使命を背負った活動は今後も続く。

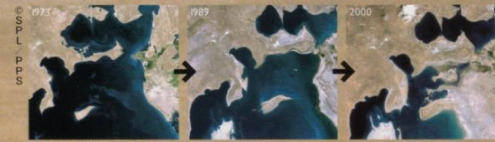


スクリーンを背にスライド講演するゴア氏
©UPI/写真

カザフスタン 干上がったアラル海

約7万km²(日本の約4倍)あった湖は温暖化のため年々縮小し、旧ソ連が灌漑を行ったことが主な原因となり、90年代後半、右は、'73年→'89年→'00年と消えゆくアラル海の衛星写真

©David Turney / Photo



干上がったアラル海

(出典:「週刊現代」2007年3月10日号、講談社)





アラル海の惨状

山本将文(フロント2003年6月)





Japan Water Forum / Kazushi Hashimoto



シルダリア川から取水する水門

山本将文（フロント2003年6月）

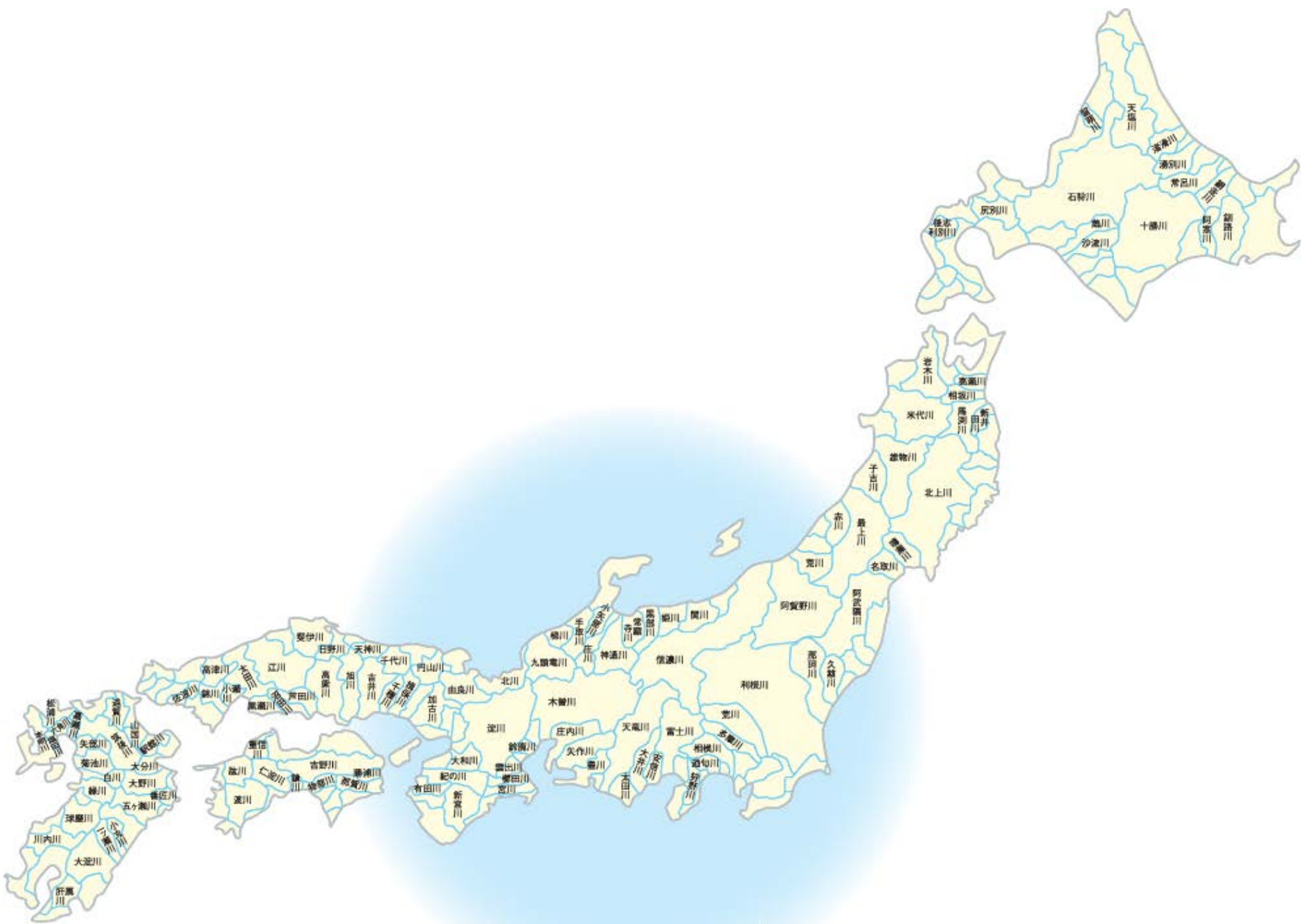


綿花を摘む流域の人々

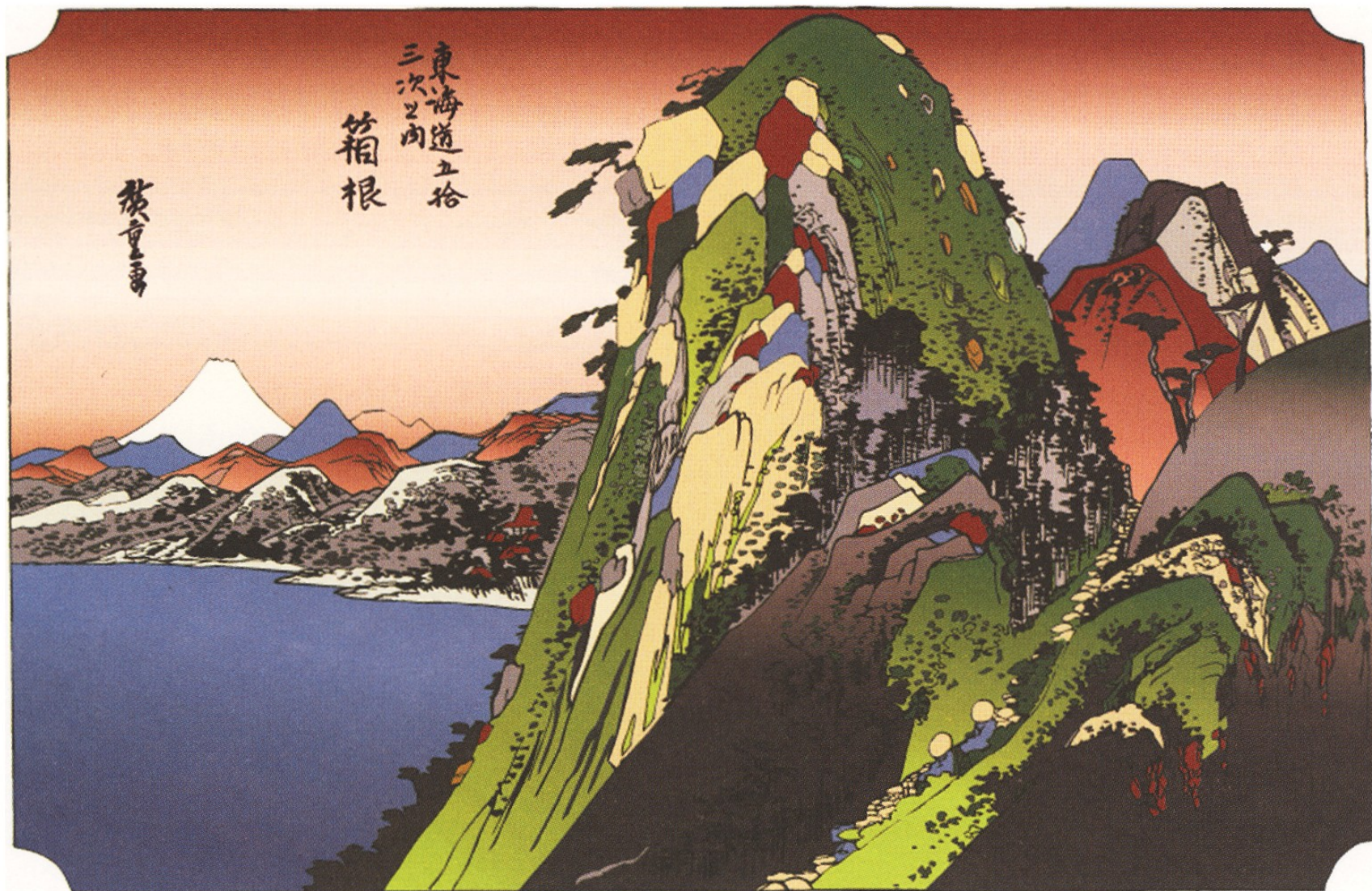
プレ近代は流域社会



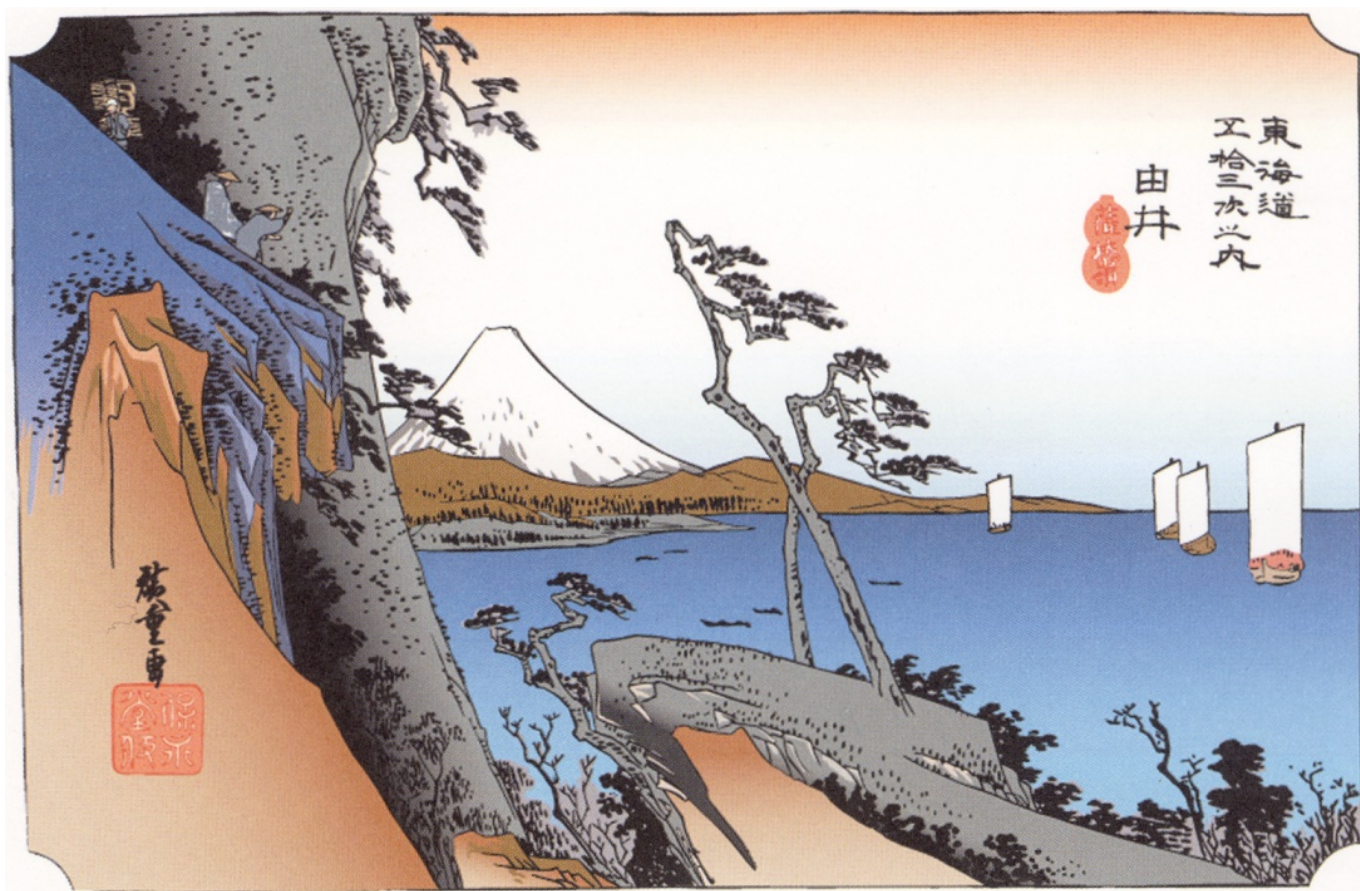
徳川家康



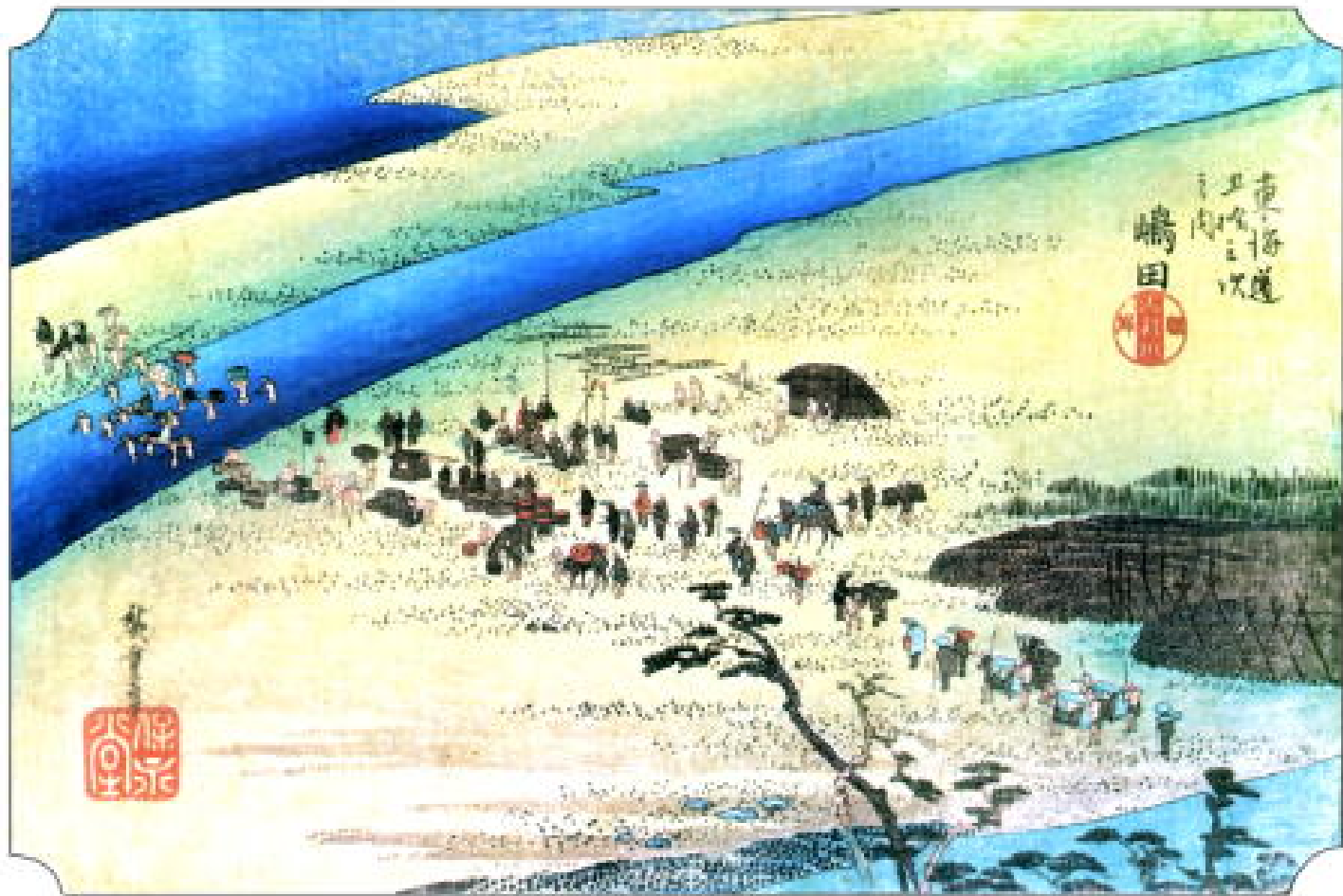




広重 東海道五十三次(箱根)



由井の峠



大井川 大重

近代化は流域の崩壊 —日本—



ペリー渡来絵図屏風 東京国立博物館

ペリー来航 1853年





大政奉還
1867年

二条城大広間 明治聖徳記念館蔵、
日本の歴史、中公文庫



勝西郷会談1868年

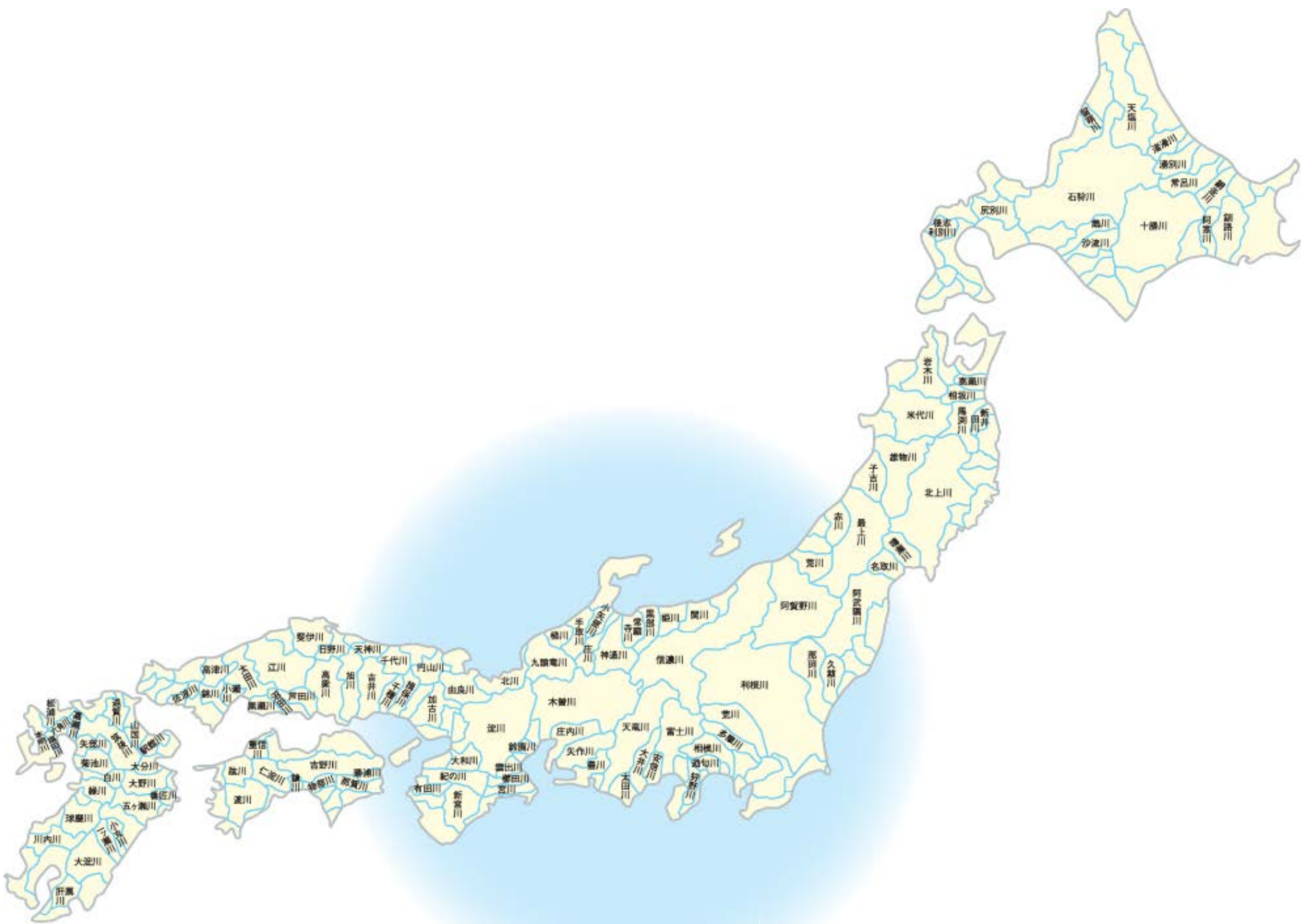
勝・西郷会見の図

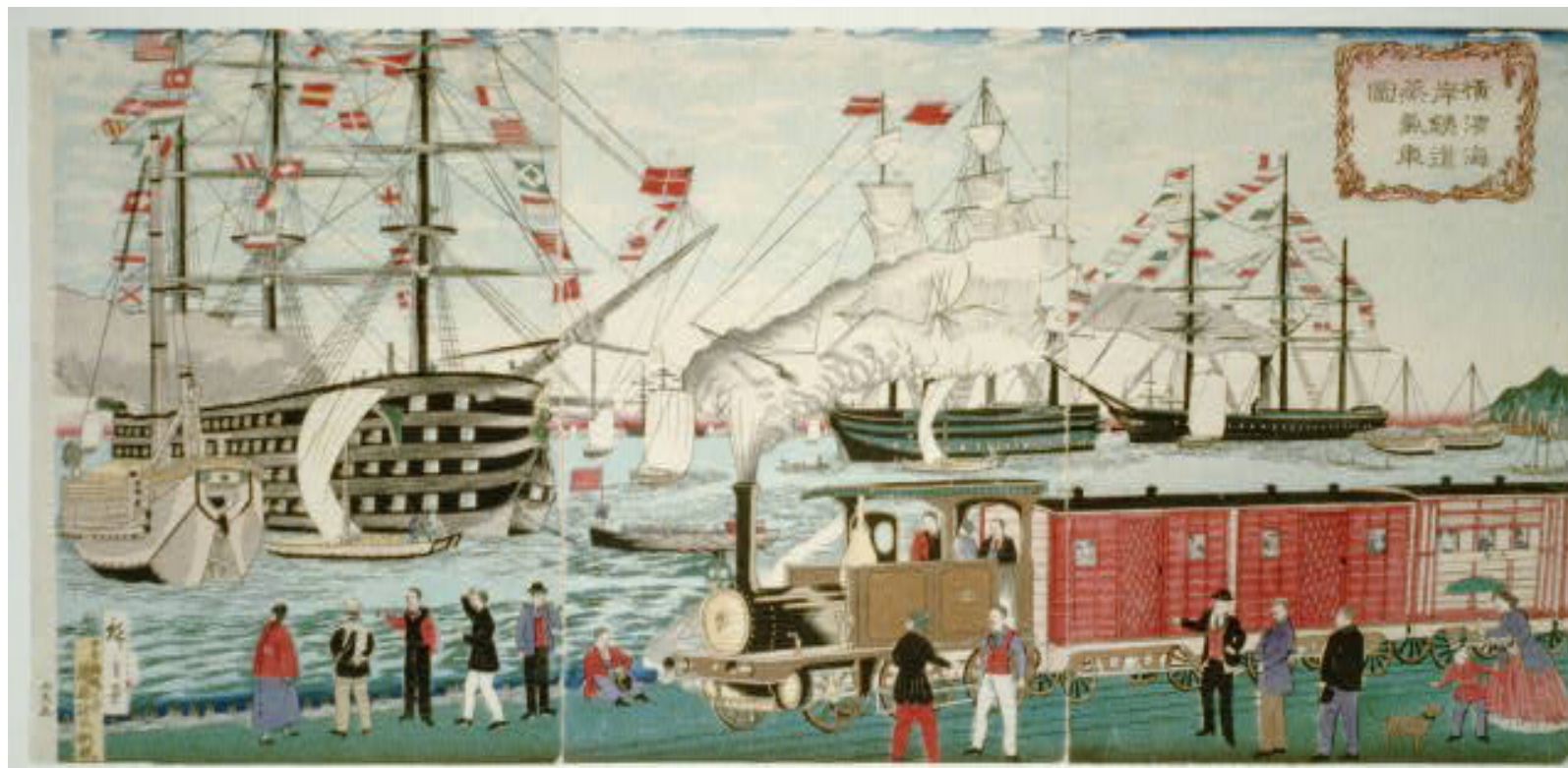
明治神宮聖徳記念絵画館蔵



日本国帝国議會 1890年(明治23年)

権力地方分散から権力集中へ





明治5年(1872年)新橋～横浜間 開業

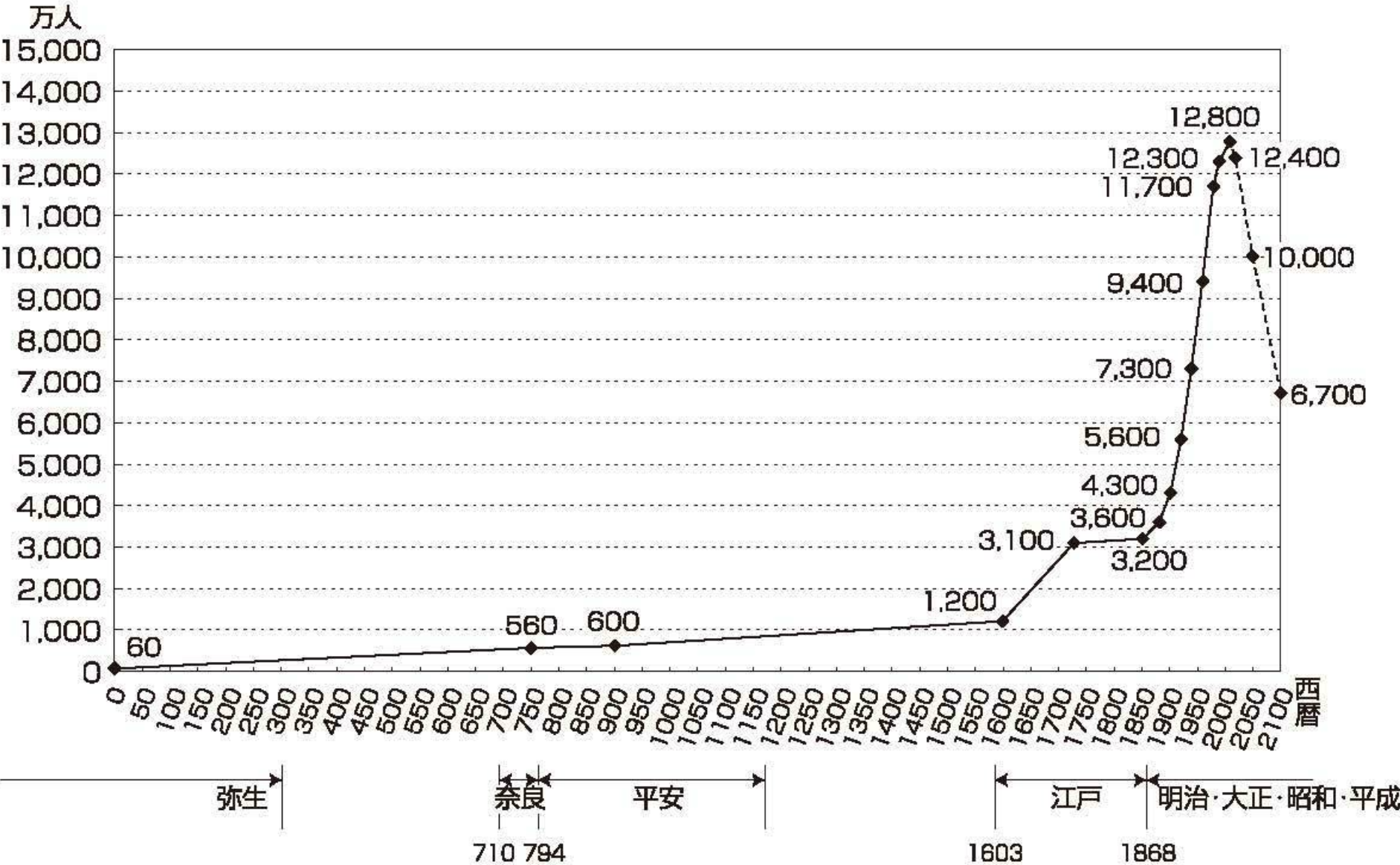
横浜海岸鐵道蒸氣機關車
歌川広重



多摩川橋梁 六郷蒸気車往来之全図 三代広重

1871年(明治4年) 出典: 恵の本音

日本の人口の推移

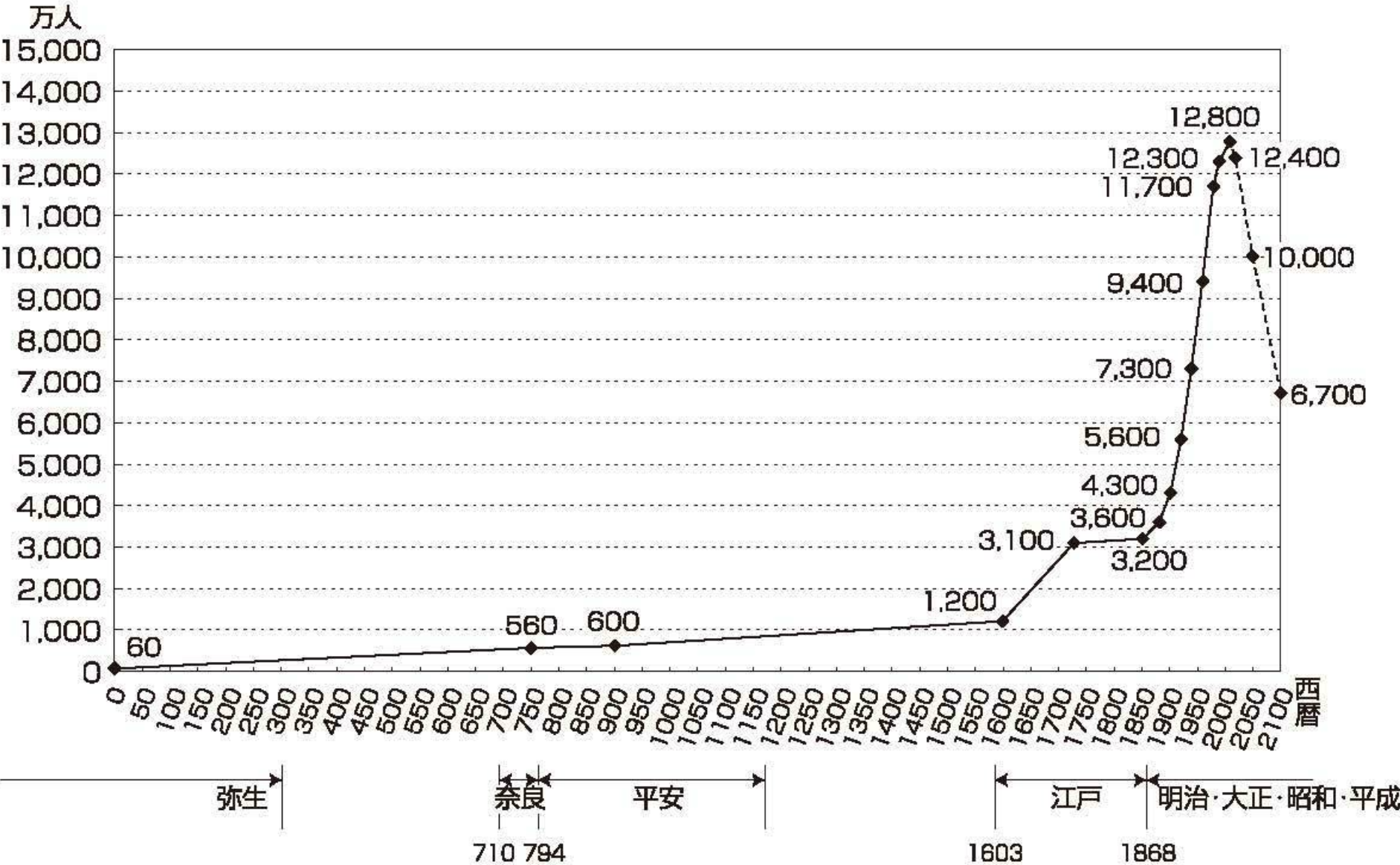


出典)「国勢調査」

* 1850 年以前は、鬼頭宏『日本二千年の人口史』(PHP 研究所)、将来人口は、(財)日本人口問題研究所 (中位推計) による

近代とはなんだったのか？

日本の人口の推移



出典)「国勢調査」

* 1850 年以前は、鬼頭宏『日本二千年の人口史』(PHP 研究所)、将来人口は、(財)日本人口問題研究所 (中位推計) による

膨張への対応

近代化の価値基準

効率性

効率性とは

単位面積の生産性



都市集中

単位時間の生産性

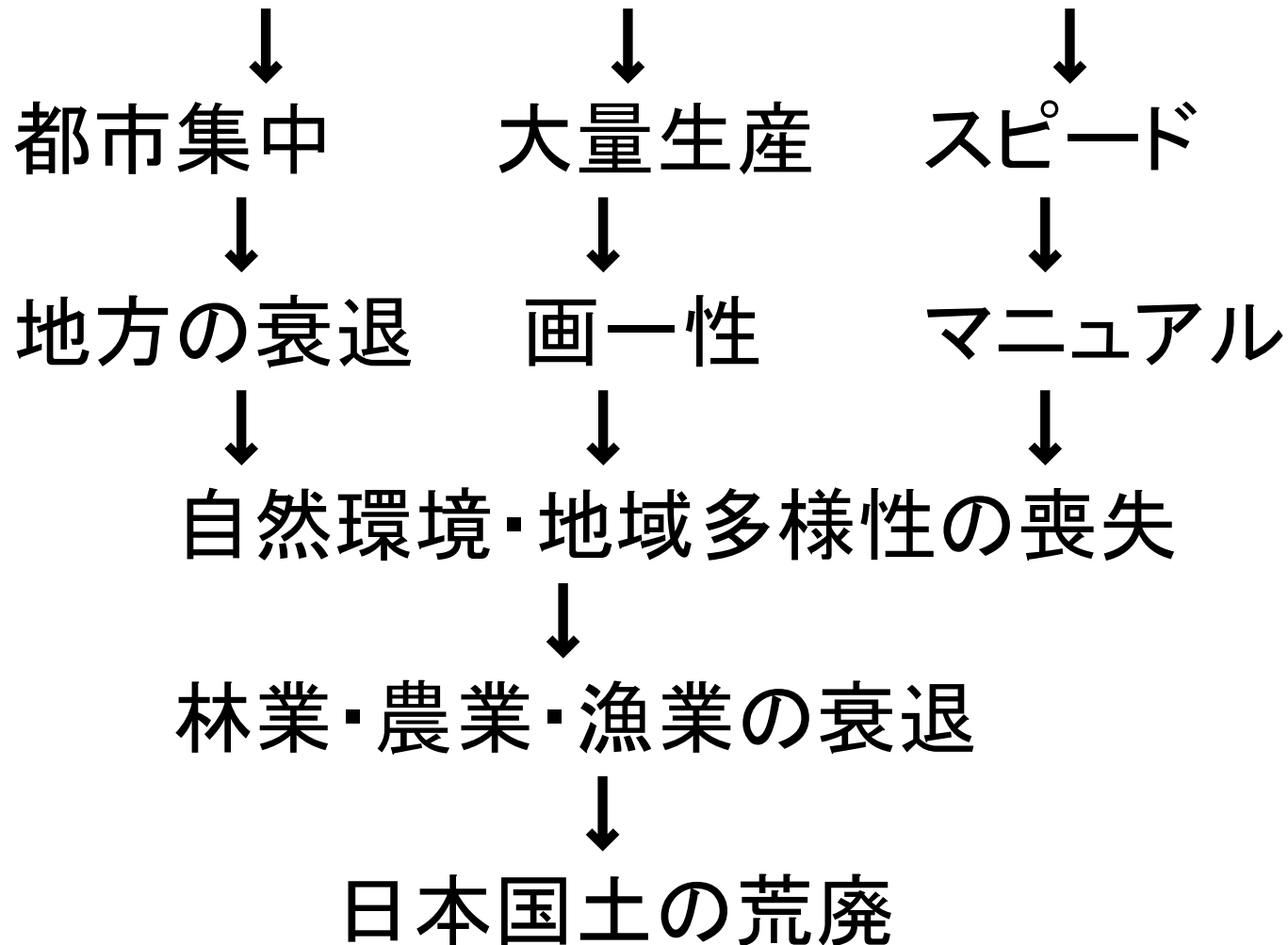


画一性

スピード

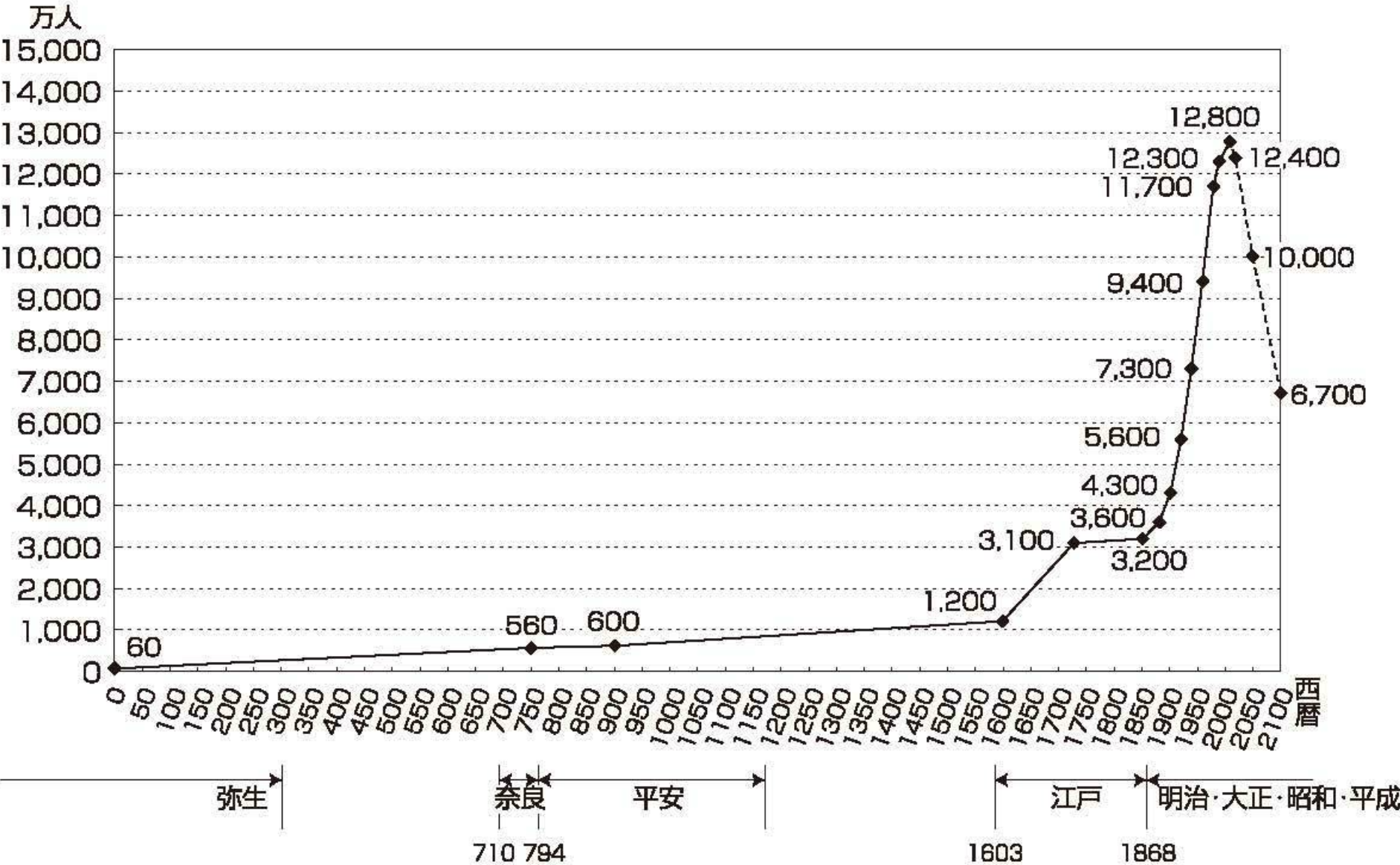
近代化（膨張への対応）

効率性:面積・時間の生産性



ポスト近代とはなにか？

日本の人口の推移



出典)「国勢調査」

* 1850 年以前は、鬼頭宏『日本二千年の人口史』(PHP 研究所)、将来人口は、(財)日本人口問題研究所 (中位推計) による

反対を考える

近代→ポスト近代

効率→ゆとり

画一性→多様性

都市集中→地方分散

自然破壊→生態系サービスの享受



農業、林業、水産業、観光

循環する流域社会

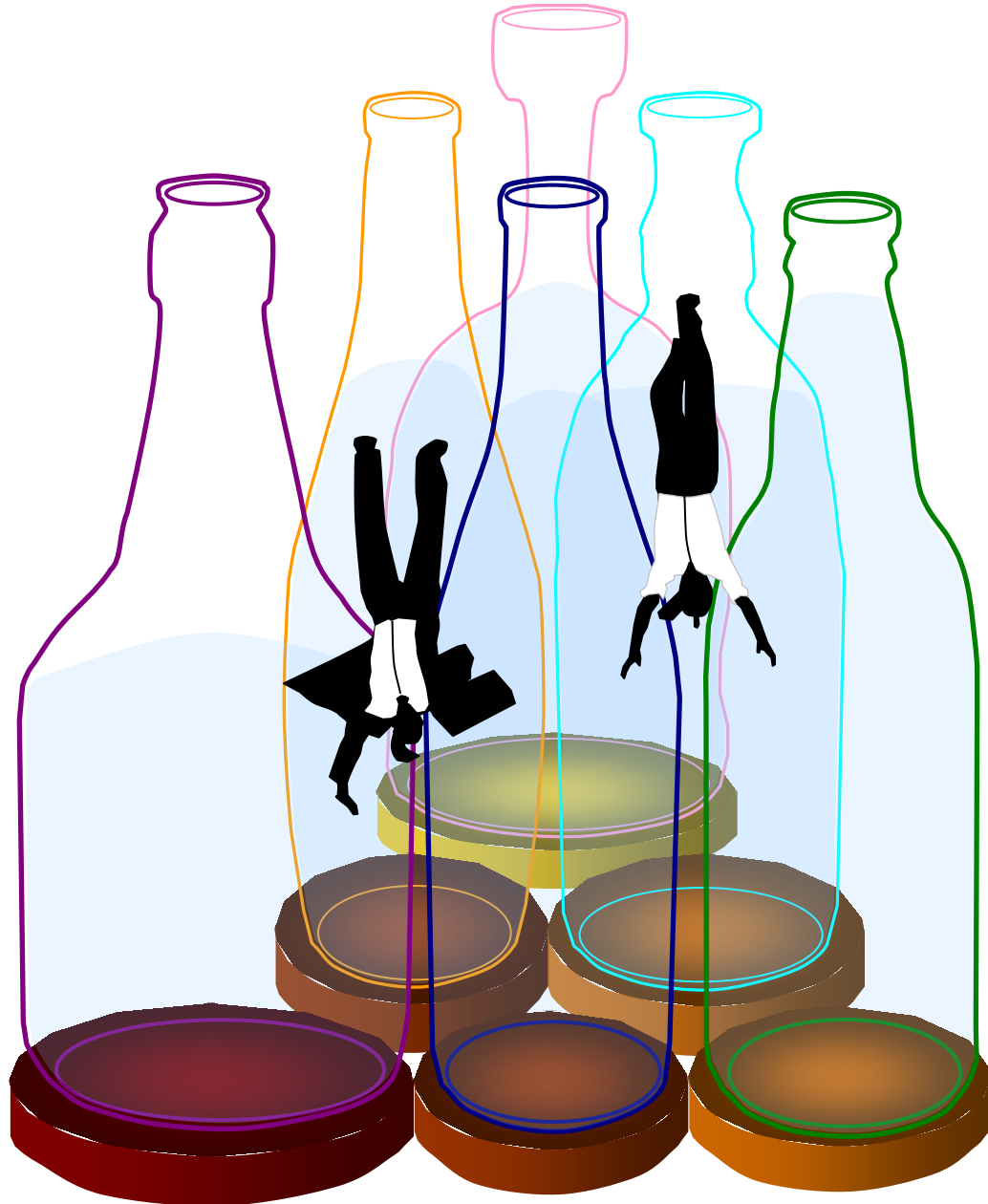
地方分散とネットワーク

誰が繋ぐのか？

縦割り行政モデル

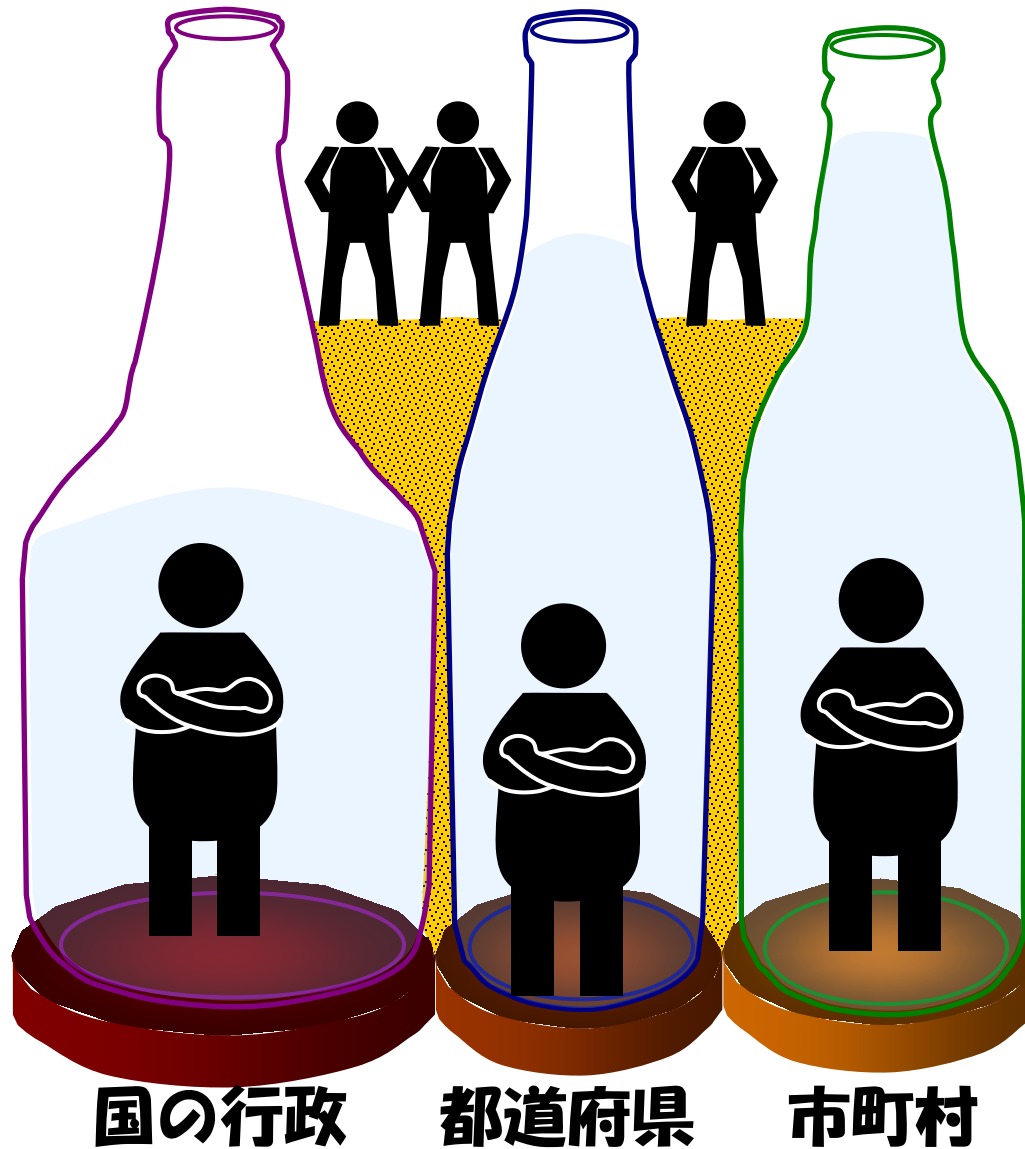


縦割り行政で苦しむ国民



ポスト近代の行政と社会モデル

民間企業とNPO



ポスト近代は流域への回帰
—エンジンとはNPO—



日本水フォーラム

4つの柱のもと、活動を展開しています。



政策提言

国内外の水問題解決を目指した政策提言を行うと共に、その実現を促進しています。また、水に関わる特定課題・地域について調査・研究を行っています。



第2回アジア・太平洋サミット(タイ)

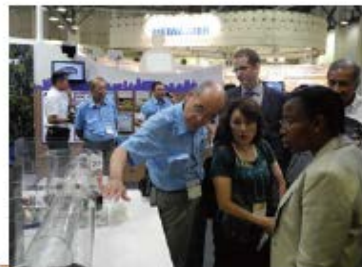
《活動事例》

- ・アジア・太平洋水サミットの開催支援
- ・水の安全保障に関わる大臣イニシアティブの推進
- ・世界水フォーラム・アジア太平洋地域プロセスのコーディネート
- ・チーム水・日本の活動促進、低炭素で持続可能な水・物質循環社会の推進
- ・水資源、河川管理、水関連災害、水ビジネス、エネルギー等をテーマとした調査研究



日本の叡智の世界への発信

日本で培われた水に関する多様な技術と経験を、国際展示会・会議等の場で世界に発信しています。



下水道展'12(神戸)

《活動事例》

- ・シンガポール国際水週間ジャパン・ビジネスフォーラムの開催
- ・水防演習ツアー：在京大使館・国際機関関係者への日本の治水対策の情報発信
- ・水・環境ソリューションハブ(WES Hub)活動支援
- ・展示会における企画協力



草の根活動の支援 - Charity for Water

個人や企業・団体の皆さまからの支援を得て、途上国を中心に草の根レベルで飲み水や衛生環境の改善に取り組んでいます。



ダルビッシュ有 投手
(現テキサス・レンジャーズ所属)

《活動事例》

- ・JWFファンドを通じた支援
- ・会員の皆さまとの連携を通じた支援(スリランカ、インドネシア、キリバス等)
- ・ダルビッシュ有水基金を通じた支援(ネパール、カンボジア、ケニア、スリランカ、バングラデシュ等)
- ・マイクロファイナンスを活用した水・生計支援(インドネシア)
- ・水災害緊急支援(パキスタン、バングラデシュ、宮城県)
- ・世界を変えるトイレプロジェクト(仮称)



人材育成・啓発

次世代を担う若者たちとの協働や、セミナー・ワークショップの開催を通じて、人材育成・啓発活動を行っています。



水の週間における水の展示会(東京)

《活動事例》

- ・打ち水大作戦への参画・支援
- ・水の週間「水の展示会」において水問題を啓発
- ・水供給、衛生、防災等に関するセミナーの開催

💧 私たちは世界と日本をつなぐ架け橋となっています。

▶ 海外のネットワーク

1 国連機関・国際機関	世界トイレ機関 等	ウズベキスタン農業省
国連アジア太平洋経済社会理事会	4 アジア太平洋地域	グルジア環境・天然資源保護省 等
国連教育科学文化機関	アジア河川流域機関ネットワーク	5 NGO
国連経済社会局	国際総合山岳開発センター 等	WaterAid(英国)
国連国際防災戦略	4-1 東アジア	Environment and Public Health Organization(ネパール)
国連食糧農業機関	中国水資源部	Rural Life Development(バングラデシュ)
国連人間居住計画	韓国国土交通部	Lanka Rain Water Harvesting Forum(スリランカ)
国際自然保護連合	韓国水フォーラム 等	Daw Kin Kyi Foundation(ミャンマー)
世界保健機関	4-2 東南アジア	Juang Laut Lestari(インドネシア)
水災害・リスクマネジメント国際センター 等	シンガポール水事業庁	Women and Children in Support of
2 開発銀行	タイ天然資源・環境省	Community Development Initiative(ナイジェリア)
世界銀行	ミャンマー農業・灌漑省	Agualimpia(ペルー) 等
アジア開発銀行	ハノイ水道公社 等	6 先進国
アフリカ開発銀行	4-3 南アジア	米国陸軍工兵隊
イスラム開発銀行	インド水資源省	米国・連邦緊急事態管理庁
米州開発銀行	ネパール都市開発省 等	ドイツ技術協力公社
南部アフリカ開発銀行 等	4-4 オセアニア・太平洋	デンマーク水フォーラム
3 水関連パートナーシップ	太平洋諸国応用地球科学委員会	オランダ水パートナーシップ
世界水会議	オーストラリア環境・水資源省	スウェーデン水ハウス
世界水パートナーシップ	ニュージーランド環境省 等	フランス水パートナーシップ
国際水協会	4-5 中央アジア	フィンランド水フォーラム
持続可能な衛生連合	アラル海救済国際基金執行委員会	ポルトガル水パートナーシップ
	中央アジア国際水調整委員会科学情報センター	スイス水パートナーシップ 等
	タジキスタン水資源改善省	

▶ 国内のネットワーク

1 省庁 (国土交通省、農林水産省、厚生労働省、環境省、外務省、経済産業省、文部科学省 等)
2 自治体 (東京都、大分県、滋賀県、大阪市、川口市、北九州市、神戸市、横浜市 等)
3 企業 (製造業: 水処理装置・プラント、飲料、自動車、家電、日用品 金融業、土木業、コンサルタント業 等)
4 市民社会 (環境・開発・河川・生態系NPO、ユース 等)
5 在京大使館・在京国際機関